

茨城県立下妻特別支援学校 キャリア教育の発達段階 【Ⅰ 課程・Ⅱ 課程】

基礎的・汎用的能力		要素	第Ⅰ段階 （段階の目安：小学部低学年）	第Ⅱ段階 （段階の目安：小学部高学年）	第Ⅲ段階 （段階の目安：中学部）	第Ⅳ段階 （段階の目安：高等部）
人間関係形成・ 社会形成能力	多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力	コミュニケーション	・返事や挨拶をする。 ・感謝や謝罪の言葉を伝える。 ・自分の気持ちや意見を伝える。	・自分の意見や気持ちを分かりやすく表現する。 ・友達の気持ちや考えを理解しようとする。	・人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。	・異年齢の人や異性等、多様な他者と場に応じた適切なコミュニケーションを図る。
	社会性	・友達の気持ちを考える。 ・友達と仲良く遊び、助け合う。 ・お世話になった人などに感謝し、親切にする。	・友達の良いところを認め、励まし合う。 ・友達と協力して、学習や活動に取り組む。 ・自分の生活を支えている人に感謝する。 ・異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。 ・話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする。	・新しい環境や人間関係に適応する。 ・他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。 ・リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームを組んで互いに支えあいながら活動する。	・新しい環境や人間関係を生かす。 ・互いに支え合い分かり合える友人を得る。 ・リーダー・フォロワーシップを発揮して、相手の能力を引き出し、チームワークを高める。 ・他者の価値観や個性のユニークさを理解し、それを受け入れる。	
自己理解・自己管理能力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力	自己の役割	・してよいことと悪いことがあることが分かる。 ・係や当番の活動に取り組み、それらの大切さが分かる。	・してはいけないことが分かり、自制する。 ・自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする。 ・係活動などで自分のやりたい係、できそうな（適した）係を選ぶ。	・自分の言動が相手や他者に及ぼす影響が分かる。 ・自分の役割やその進め方、より良い集団活動のための役割分担やその方法が分かる。	・学校・社会において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たす。 ・生きがい・やりがいがあり自己を生かせる生き方や進路を現実的に考える。
		主体性	・自分の好きなことや嫌なことをはっきり言う。 ・自分の好きなもの、大切なものをもつ。 ・自分のことは自分で行おうとする。 ・正しい生活習慣を身につける。	・自分のやりたいこと、良いと思うことなどを考え、進んで取り組む。 ・教師や保護者に自分の悩みや葛藤などを話す。 ・自分の長所や短所に気づき、自分らしさを発揮する。 ・自分の体調を理解し、他者へ伝える。	・自己の個性や興味・関心等に基づいて、より良い選択をしようとする。 ・自分の悩みを話せる人をもつ。 ・自分の良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し、尊重する。	・自己の思いや意見を適切に伝え、他者の意思等を的確に理解する。 ・自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。
		自己の障害需要	・自分の良いところを見つけ、自分が大切な存在であることが分かる。 ・障害による学習上、生活上の困難への支援を受入れながら、できることは自分でしようとする。	・必要な支援により、障害による学習上または生活上の困難を改善克服しようとして自分で取り組む。	・自分の障害の状態をある程度理解し、必要な支援を求めつつ、障害による学習上・生活上の困難を改善・克服しようとする。	・自分の障害の状態を理解し、自立と社会参加に向け、主体的に取り組む。
課題対応能力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力	情報の収集・活用	・分からないことや知りたいことは、質問したり調べようとしたりする。	・分からないことや自分に必要な情報を図書やインターネットなどで調べたり、質問したりする。	・目的に応じて情報及び情報手段を選択し、活用する。	・目的に応じて情報及び情報手段を主体的に選択する。 ・信頼度が高く、必要な情報を取捨選択して活用する。
		計画・立案・実行	・めあてをもって取り組み、自分のがんばりを評価する。	・具体的な目的を設定し、達成に向けて自分から取り組む。 ・問題が起きたときに原因を調べ、解決しようとする。	・目標を明確にし、課題の解決に向けて計画し、評価・改善する。 ・問題が起きたとき、原因を調べ、課題を発見し、解決のための工夫をする。	・明確な目的設定のもと、見直しをもって計画し、評価・改善を加えて実行する。 ・問題が起きたとき、原因を調べ、課題を発見し、解決のための方法や手段を選択する。
キャリアプランニング能力	「キャリアプランニング能力」は、「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解	・身近で働く人々の様子が分かり、興味関心をもつ。	・社会にはいろいろな役割があることやその大切さが分かる。 ・施設や職場見学等を通して、働くことの大切さや苦労が分かる。 ・働くことの楽しさが分かる。 ・仕事における役割の関連性や変化に気付く。	・生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・整理し活用する。 ・将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。 ・体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる。 ・係、委員会活動や職場体験などで学んだことを、以後の学習や選択に生かす。 ・日常の生活や学習と将来の生き方との関係を理解する。 ・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。	・職業生活における権利・義務や責任及び職業に就く手続き・方法などが分かる。 ・就業等への社会参加や上級学校での学習等に関する探索的・試行的な体験に取り組み、今学校で学んでいることと、自分の将来とのつながりを考える。 ・社会規範やマナー等の必要性や意義を、体験を通して理解し習得する。 ・多様な職業観・勤労観を理解し、職業・勤労に対する理解・認識を深める。 ・ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解する。
		将来設計	・あこがれの職業をもち「～になりたい」という気持ちを発表する。	・あこがれとする職業をもち、今しなければならないことを考える。 ・将来の夢や希望をもち、実現を目指して努力しようとする。	・将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。 ・進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来を暫定的に計画する。 ・選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。 ・教師や保護者と相談しながら、当面の進路を選択し、その結果を受け入れる。	・将来の目標の実現に向けて、今取り組むべき学習や活動を理解する。 ・職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する。 ・選択の基準となる自分なりの価値観・職業観・勤労観をもつ。 ・多様な選択肢の中から、自己の意思と責任で当面の進路や学習を主体的に選択する。 ・進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、実現可能性についての検討をする。
本校児童生徒への配慮事項			・校内での授業が多く、校外に出かけて社会の情報が入りにくいので、社会的事象の様々な情報提供を工夫する。 ・就職、進学の両面から情報収集できるように、卒業後の多様な進路先について知る機会を設ける。		・自らの運動機能の制限を受容した上で、身体的機能の制限を補う、自らに適した手段や技能（ＰＣ入力等）を身につける。 ・保護者の理解を図り、進路決定へ向けて土台作りを家庭と連携して取り組む。	・進路希望については、具体的に達成可能な進路希望に変更するなど、進路計画を修正・変更し、新たな準備を開始できるようにする。

茨城県立下妻特別支援学校 キャリア教育の発達段階【Ⅲ課程・訪問教育】

基礎的・汎用的能力		要素	第Ⅰ段階	第Ⅱ段階	第Ⅲ段階	第Ⅳ段階
人間関係形成・社会形成能力	多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力	コミュニケーション 社会性	・教師からのかかわりを受け止める。	・教師のかかわりに表情や声、身体の動きで応じる。	・担任以外のかかわりに表情や声、身体の動きで応じる。	・なじみのない支援者のかかわりも受け止める。
			・快不快を声や表情、身体の動きで表す。	・快不快を声や表情、身体の動きで伝える。	・自分の気持ちを伝えようとする。	・自分の気持ちを自分なりの方法で伝える。
			・いつも一緒に活動する小集団での活動を受け止める。	・いつも一緒に活動する小集団の中で、友達を意識する。	・教師と一緒に、新しい集団での活動を受け入れる。	・なじみのない集団の活動に落ち着いて取り組む。
				・教師の適切な援助や準備によって、様々な経験を積む。	・周囲の人と年齢にふさわしいやり取りをしながら、様々な活動に参加する。	・多様な人と触れ合う経験を重ね、自分らしい表現や良いところを知ってもらい、やりとりをする。
自己理解・自己管理能力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力	自己の役割 主体性 自己の障害需要	・大まかな覚醒のリズムをつくる。	・覚醒のリズムが安定する。	・生活のリズム（睡眠・食事など）が安定する。	・非日常的な出来事（生活時間帯の変更等）があっても、健康状態を保つ。
			・痛みや不快を感じる。	・痛みや不快の感覚を表現する。	・痛みや不快の感覚を伝えようとする。	・痛みや不快を取り除くことを要求する。
			・教師からのかかわりに興味関心をもつ。	・教師の反応に興味関心をもつ。	・教師から称賛されたことが分かる。	・教師の自分への評価に興味関心をもつ。
			・様々な素材に触れたり、活動を経験したりすることで、興味関心の幅を広げる。	・興味関心、ふるまい等が明確になり、本人なりの個性としてそれらを発揮する。	・様々な支援機器を使うことにより、生活の質を上げる。	・価値ある活動（奉仕、労働等）に、支援を受けながら自分なりの方法で参加し、価値を共有する。
課題対応能力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力	情報の収集・活用 計画・立案・実行	・なじみのある人や好きな人に気持ちを向ける。	・なじみのある人や好きな人、物が分かる。	・なじみのある人や物とそうでないものが分かる。	・周囲のいろいろな人を声や姿などで判別する。
			・すぐ近くの人や物を注視したり、手を伸ばして触ろうとしたりする。	・好きなものやしたいことを要求しようとする。	・選択肢の中から自分の好きなもの、したいことを選ぶ。	・場所や支援者が変わっても、自分の要求を伝える方法をもつ。
			・ひとつながりの物事の終わりを感じ取る。	・ひとつながりの物事の終わりを受け入れる。	・繰り返される物事について、「～したら、～になる」という短い見通しをもつ。	・日常的に繰り返される物事について、見通しをもつ。
					・学習経験を通して、様々なことに慣れ、安定した学習ができる。	・健康面も含め、しっかりとした個性を発揮することで、様々な可能性を発見してもらい、様々な進路の可能性を、教師とともに見出す。
キャリアプランニング能力	「キャリアプランニング能力」は、「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解 将来設計	・いろいろな遊びを体験する。	・好きなことを見つける。	・好きなことや活動を増やす。	・自分の楽しめることで余暇などの時間を過ごす。
			・教師から身体に触れられることを受け止める。	・教師からの介助を受け止め、一緒に活動に取り組もうとする。	・介助されることを受け入れ、一緒に活動に取り組もうとする。	・協力的な動作をしようとする。
			・教師と一緒に付近の公園や施設を利用する。	・教師と一緒に電車やバスを利用する。	・教師と一緒に1泊程度の宿泊をする。	・教師と一緒に安定した気持ちで1、2泊程度の宿泊をする。
本校児童生徒への配慮事項			・校内での授業が多く、校外に出かけて社会の情報が入りにくいので、社会的事象の様々な情報提供を工夫する。		・保護者との理解を図り、進路決定へ向けての土台作りを家庭と連携して取り組む。	・進路希望については、具体的に達成可能な進路希望に変更するなど、進路計画を修正変更し、新たな準備を開始できるようにする。